

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	65	81	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	1	3	ヘルパンギーナ	84	76
咽頭結膜熱	26	29	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	10	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	97	98	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	335	318	流行性角結膜炎(はやり目)	4	13
水痘	105	102	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	257	184	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	1	1	マイコプラズマ肺炎	3	3
突発性発しん	44	57	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 335件(前週報告数 318件)と増加。地区別では、菊池、有明、山鹿に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 51件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 手足口病は、報告数 257件(前週報告数 184件)と増加。地区別では、菊池、熊本、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 112件を最多に主に 5歳以下からの報告です。
- 水痘は、報告数 105件(前週報告数 102件)とほぼ前週と同数です。地区別では、菊池、山鹿、宇城に多く報告がみられます。年齢別では 2歳の 24件を最多に主に 6歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	23		6	29	79	29	122		18		20	2		4				1
山鹿保健所					20	8	4		3				*	*				
菊池保健所	10	1	9	30	78	26	56	1	7		11	3						
阿蘇保健所				1	3								*	*				
御船保健所	1				3	1	1						*	*				
八代保健所	18			2	28	7	1		1		9							
水俣保健所				3	5	2	6				2		*	*				
人吉保健所	2			2	26	7	5		3		2		*	*				
有明保健所	2		5	3	58	8	21		6		13	2						
宇城保健所	9		4	15	21	12	26		4		13	1	*	*				
天草保健所			2	12	14	5	15		2		14	2						2
計	65	1	26	97	335	105	257	1	44	0	84	10	0	4	0	0	3	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	65				5	2	3	9	3	6	2	2	12	7	2	6	2	1	2	1	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	1	1																			
咽頭結膜熱	26		2	7	2	9	3	1					2								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	97			3	4	14	19	14	12	7	8	7	8		1						
感染性胃腸炎	335	8	39	51	31	33	26	24	14	18	15	14	36	8	18						
水痘	105	4	5	21	24	22	12	7	7	1		1	1								
手足口病	257	4	39	112	49	23	16	8	2	1	2			1							
伝染性紅斑	1				1																
突発性発しん	44		22	21	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	84	1	11	32	16	10	6	4	3					1							
流行性耳下腺炎	10					2	2	3		3											
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	4													1		1	1				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	3				1						1										
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 水痘 : 菊池
- 感染性胃腸炎: 菊池
- 手足口病 : 熊本、菊池、宇城

【手足口病の患者報告数が警報レベルを超えました】

先週に引き続き、手足口病、ヘルパンギーナの報告数が増加傾向にあります。特に、手足口病については、県全体の一定点あたりの患者報告数が5.14となり、国が定める警報基準値(5.00以上)を超えました。地域別では、菊池、熊本、宇城が警報レベルを超えています。また他の地区においても高い傾向にあり、引き続き注意が必要となります。

【手足口病とは】

潜伏期間: 3~5日

特徴: 発熱、手のひら、足の裏、おしり、口の中の粘膜の発疹。

38度台の熱が1~3日あります。

発疹は水疱性の発疹(一見水疱瘡に似ている)で、周りが赤くなります。

発疹は痒みを伴います。2~3日でかさぶたになり1週間程で消えます。

1~5歳までが多く、成人でも感染します。4歳までの乳幼児が80~90%を占めるウイルス性発疹症。

【感染予防のポイント】

・おもちゃを替えた後や食事の前は特に丁寧に手を洗いましょう。

・タオルなどは共用しないようにしましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課